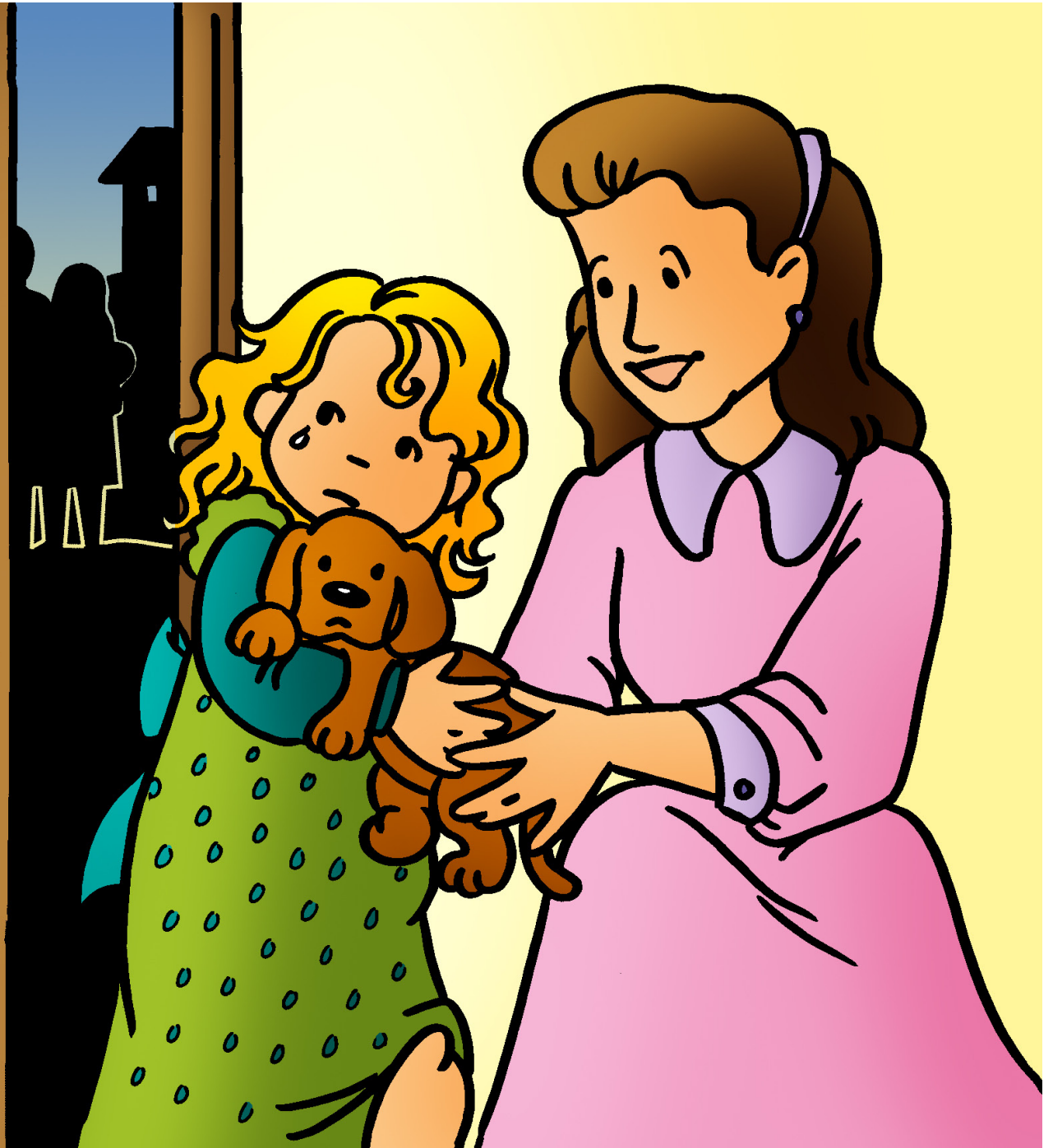


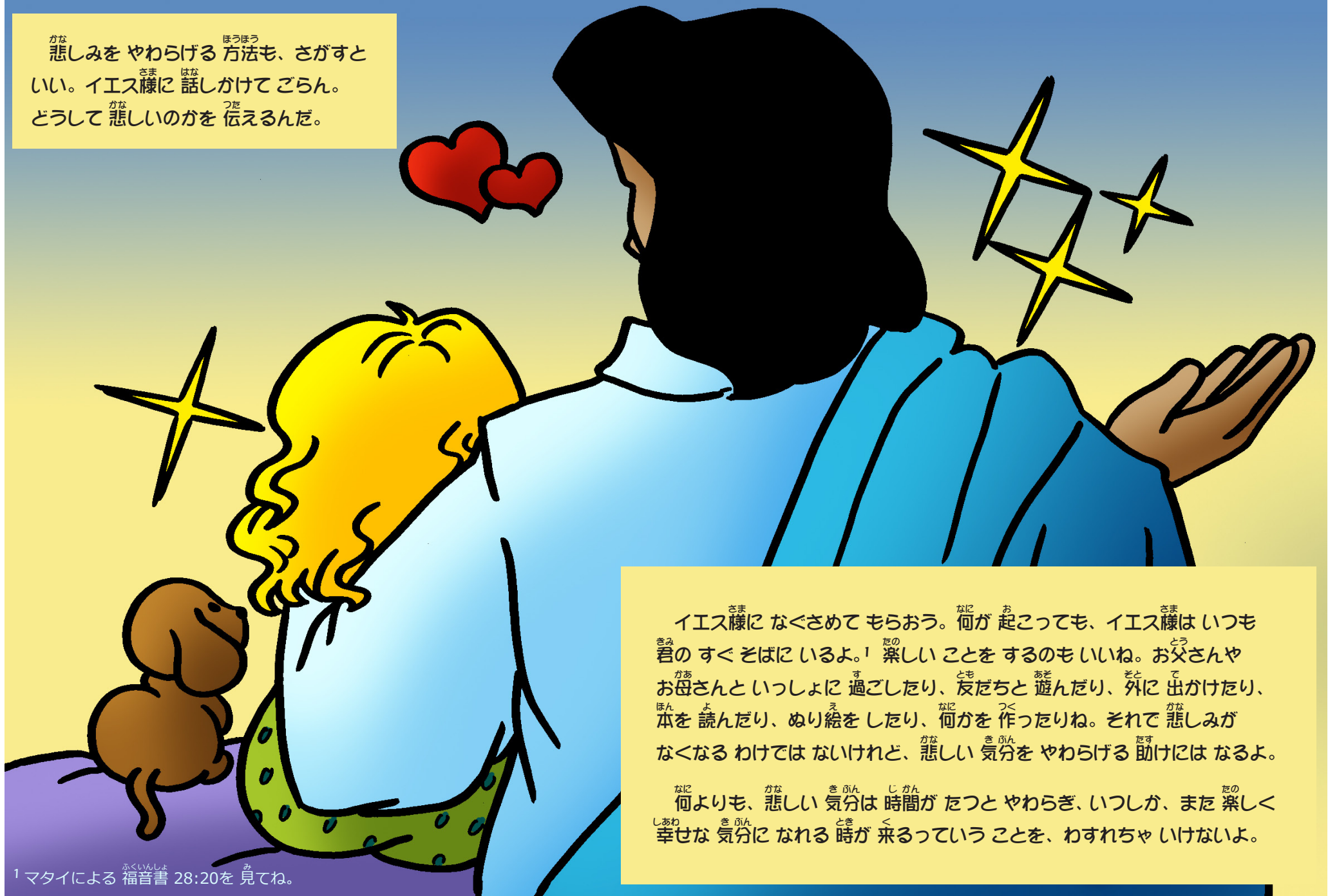
かな 悲しいときは

君が 悲しそうなのは、友だちや
大好きな 人が 引っこしたからかい？
それとも、ペットが 死んでしまったの
かな？ 何が 変わって、つらい
思いをしたのかな？ だれでも、
悲しいことは あるよね。そんな
時は、悲しくて 泣いたりしても
いいんだよ。

悲しみは、ほんの つかのまで
ある ことも あれば、しばらくの間
続く こともあるだろう。自分の
気持ちを、お父さんや お母さんに
話して ころん。話しても、何が
変わる わけじゃ ないけれど、
じょうきょうをもっと 理解できる
ようになるし、君を 愛してくれる
家族が いつも そばに いて、
助けに なってくれる ことが
わかるよ。



かな
悲しみを やわらげる ほうほう
いい。イエスさまに 話しかけて ござらん。
どうして かな 悲しいの がを つた 伝えるんだ。



イエスさまになぐさめてもらおう。何が 起こっても、イエスさまはいつも
君のすぐそばにいるよ。¹ 楽しいことをするのもいいね。お父さんや
お母さんと いっしょに 過ごしたり、友達と 遊んだり、外に 出かけたり、
本を 読んだり、ぬり絵を したり、何が を 作ったりね。それで 悲しみが
なくなる わけではないけれど、悲しい 気分を やわらげる 助けには なるよ。

何よりも、悲しい 気分は 時間が たつと やわらぎ、いつしか、また 楽しく
幸せな 気分になれる 時が 来るって いうことを、わすれちゃ いけないよ。

¹ マタイによる 福音書 28:20 を 見てね。